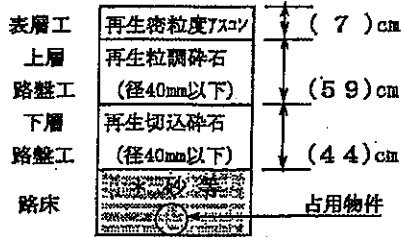


① 仮復旧方法 ----- 即日に次の方法で行うこと。



(1) 一層ごとの敷均し厚さは、下記のようになるように、十分に締固め、図示のとおり仕上げること。

※ [] は、振動ローラーを使用した場合
路床(*砂等) ----- 下層から20cm以下ごと
下層路盤(再生切込碎石)

----- 下層から10 [20] cm以下ごと

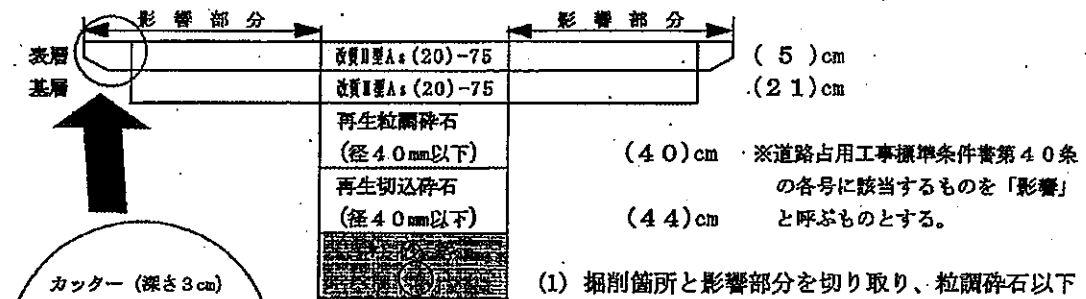
上層路盤(再生粒調碎石:RM-40又は粒調碎石:M-30)

----- 下層から10 [15] cm以下ごと

* 砂等 ... 砂・埋め戻し用砂質土・改良土のことをいう。

(2) 仮復旧期間中は、表示施設を設け、常時パトロールをし、沈下した場合は、速やかに補修すること。

② 本復旧方法 ----- 転圧期間 (2ヶ月以上) 後、次の方法で行うこと。

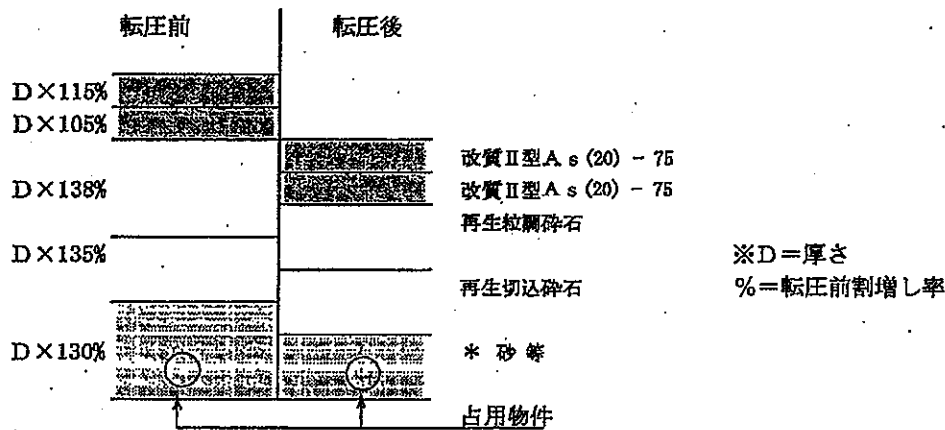


(1) 掘削箇所と影響部分を切り取り、粒調碎石以下を十分に締固め、図示のとおり仕上げること。

~~(2) 影響部分 現地土会いのうえ決定。~~

~~(3) 本復旧完成検査後、9ヶ月間は、申請人の責任期間とする。~~

③ 車道復旧組成図



仮舗装区間標示板

550mm	
仮舗装区間	
皆様のご協力により〇〇埋設工事が完了したので、仮舗装をして交通を一時開放しました。 復旧箇所が十分に固まってから本舗装を行います。お気づきの点がありましたら下記へご連絡ください。	
占有者名(担当者名) 電話番号 請負業者名(担当者名) 電話番号	
1,400mm	

標示板は100mおきに掲示すること。